

気候情報

2005年11月の日本の天候

気温の変動大きい、日照時間多い（太平洋側）

11月の天気概況

上旬や下旬は、高気圧に覆われ晴れて気温の高い日が多かったが、中旬には日本付近に強い寒気が南下して気温の低い日が多く、気温の変動が大きかった。

6～7日は日本付近を発達しながら通過した低気圧により、東・西日本を中心に大雨となり、月末には日本海の低気圧が急速に発達して通過したため、北日本を中心に大荒れとなった。また、中旬には北日本を中心に冬型の気圧配置が続いたが、そのほかの日は高気圧に覆われて晴れの日が多く、特に北・東日本太平洋側では1946年の統計開始以来、それぞれ月間日照時間の多い記録の2位と3位となった。なお、11月の台風発生は2個（平年2.5個）であった。

上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多く、南から暖かい空気が流れ込んで気温の高い日が多かった。しかし、6～7日にかけては日本海と本州南岸を低気圧が発達しながら通過したため、東・西日本を中心に大雨となる所があった。また、9日は低気圧の通過後一時的に冬型の気圧配置となって北日本の上空に寒気が流れ込んだため、北・東日本日本海側では雨や雪となった。なお、発達した低気圧が通過した7～8日は、西日本や南西諸島の広い範囲で黄砂を観測した。また、10日には台風第22号が発生した。**旬平均気温**は、全国で高かった。**旬降水量**は、北日本太平洋側と西日本で多く、北日本日本海側と東日本太平洋側で平年並のほかは少なかった。**旬日照時間**は、西日本太平洋側で平年並のほかは多かった。

中旬：日本付近に強い寒気が南下して気温の低い日が多かった。また、北海道の東海上で低気圧が発達したため、北日本を中心に冬型の気圧配置が続き、日本海側は曇りで雨や雪の日が多く、太平洋側では晴れの日が多かった。南西諸島は、低気圧や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。なお、16日に台風第23号が発生した。**旬平均気温**は、北・東日本で低く、西日本で平年並、南西諸島で高かった。**旬降水量**は、北・東日本太平洋側で少なく、東日本日本海側で平年並のほかは多かった。**旬日照時間**は、北日本太平洋側で多く、東日本太平洋側と西日本で平年並のほかは少なかった。

下旬：気圧の谷が短い周期で通過したが、天気の流れは小さく、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。しかし、月末には日本海の低気圧が急速に発達して通過したため、北日本を中心に大荒れとなった。また、上空には寒気が入りやすく、大気の状態が不安定となって、日本海側を中心に各地で雷雨となり、26日には降ひょうを観測する所もあった。南西諸島では前線の影響を受けやすく、曇りの日が多かった。**旬平均気温**は、北・西日本で高いほかは平年並だった。**旬降水**

量は、東日本日本海側で多く、北日本で平年並のほかは少なかった。**旬日照時間**は、東日本日本海側と南西諸島で平年並のほかは多かった。

11月の気候統計

平均気温：月平均気温は、平年並の地域が多かったが、北海道、九州北部地方および南西諸島で高く、北海道と南西諸島の多くの地点で平年を1℃以上上回った。

降水量：月降水量は、北海道のオホーツク側でかなり少なく、東北地方から近畿地方にかけての太平洋側と沖縄地方で少なかった。一方、北日本と西日本の日本海側では多く、そのほかの地域では平年並だった。

日照時間：月間日照時間は、北日本から東日本にかけての太平洋側と西日本でかなり多く、南西諸島では多かった。根室（北海道）、水戸（茨城県）、大阪など8地点で11月の月間日照時間の最大値を更新した。北日本から東日本にかけての日本海側では平年並だった。

降雪・積雪：降雪の深さ月合計、月最深積雪ともに、全国的に少なかった。なお、北日本における初雪は平年より遅いところが多かった。

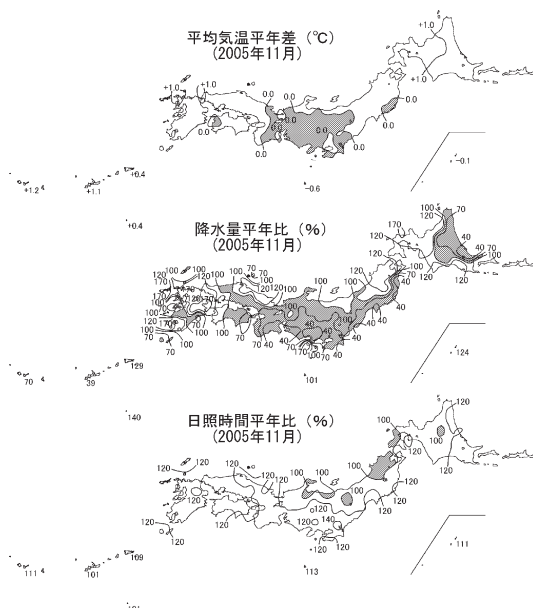
（気象庁観測部統計室）

11月の記録（1位更新のみ）

・月間日照時間の多い方から（時間）

根室	190.7	小名浜	210.9	水戸	196.4
上野	171.1	津	206.6	浜松	228.3
大阪	191.8	奈良	171.1		

2005年11月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。